

## ゼロトラストにおけるIAMの重要性

「ゼロトラスト」は、調査会社Forrester Researchのアナリストが2009年に発案した概念です。何も信頼せず、全てのアクセスに対して全てを疑い検証することを意味しています。

ゼロトラストの概念を取り入れたセキュリティ対策では、システムやデータへアクセスするためのIDがセキュリティ境界となりますが、IDのみならずデータ・アプリ・デバイスもそれぞれ保護する必要があります。









なお、ゼロトラストは単一製品やソリューションでの実現は難しく、これら製品やソリューション間の連携が必須です。

例えば、クラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー (CASB)、セキュア Web ゲートウェイ (SWG)、セキュリティ情報とイベント管理 (SIEM) やエンドポイントにおける検知と対応 (EDR)、情報漏洩対策 (DLP) などが関連しますが、それぞれが見ているIDは本当に正しいと言い切れるのでしょうか。IDの管理が正しく行われない限り、関連製品によるゼロトラスト対策も信頼性が揺らぐこととなります。

これら関連機能が本人確認に利用するIDは、IAMにより管理されるため、ゼロトラストの中でもIAMが最も重要な機能であると言えます。

## NetIQ 製品ポートフォリオ

IDを中心としたNetIQ IAMは、以下に代表される製品で構成されています。

 <b>IDガバナンス</b> (Identity Governance)			<b>多要素認証</b> (Advanced Authentication) 
 <b>Web/フェデレーション系SSO</b> (Access Manager)	 <b>C/S系SSO</b> (SecureLogin)	 <b>特権ID管理</b> (Privileged Account Manager)	
 <b>統合ID管理</b> (Identity Manager)	 <b>AD/Azure AD 管理権限委任強化</b> (Directory & Resource Administrator)	 <b>ユーザ自身による パスワードリセット</b> (Self Service Password Reset)	
<b>ソリューション</b>			

ソリューション	目的
IDガバナンス	ユーザが持つ各種アクセス権限を収集して、リスク値等を使い不適切な権限が付与されていないか監査することを目的としています。統合ID管理と組み合わせることで、監査に加えて自動反映させることも可能となります。
Web/フェデレーション系SSO	WebサイトやSaaS利用時のID/パスワード入力の手間を軽減します。
C/S系SSO	Web化されていないツール、例えば、ESXクライアントやターミナルソフトへのID/パスワード入力の手間を軽減します。
特権ID管理	共有して利用されることが多いroot/administratorといった特権IDの、利用制限、ならびに、操作内容の監査を目的としています。
統合ID管理	冗長的なID管理作業をシステムで自動化して、管理作業の負荷を軽減します。
AD/Azure AD管理権限委任強化	AD管理ツールで不足する最小権限管理を強化します。
ユーザ自身によるパスワードリセット	ユーザ自身でパスワードリセットが可能となるため、ヘルプデスクの作業負荷を軽減します。
多要素認証	ID/パスワードでは不足する個人特定化情報を、他の要素、例えばOTPやスマートフォン等を使い個人特定化を強化します。

## NetIQ 選ばれる理由



### ゼロトラストの要であるID/アクセス/ガバナンス管理まで単一ベンダーで完結

一般的にこれらの管理機能は、別ベンダー製品を組み合わせられて構成されるため、以下の様な問題が発生します。

- ・製品間の親和性の低さ
- ・カスタマイズ工数/運用コストの増大
- ・障害発生時対応時間の増加

NetIQ製品では、これらすべての管理機能を一括提供しているため、上述する問題点は最小化され、適切な管理基盤を実現できます。



### 高機能

NetIQ製品は、管理の容易性を高める数多くの機能に対応しています。

統合ID管理では、役職や兼務等の管理に適したロール機能、ロールを応用したワークフロー・職務分掌・レポート等に対応しています。Web/フェデレーション系SSOでは、ID/パスワード以外の個人特定化情報やユーザ行動分析リスクスコアを用いたリスクベース認証、リスクスコアが高いユーザに対する多要素認証による本人確認強化に対応しています。その他製品も各製品に求められる数多くの機能を有しています。



### グローバル対応

NetIQ製品は、日本語対応だけでなく多くの諸外国言語に対応しています。

国内のITエンジニア不足に伴う外国人ユーザの採用、海外展開に伴う現地法人のM&A等が行われた場合でも外国人ユーザが必要とする言語を使ってシステムをご利用いただく事が可能です。

また、システム構築やサポートにおいても海外連携を行っておりグローバル体制での支援が可能です。



ヨーロッパを代表する情報セキュリティ専門アナリスト企業の  
Access Management 2022レポートでリーダーに選出